

# NFA2006 年度運用基準

## 装具・用具・器具の着用と使用区分

NFA 審判委員会  
日本社会人アメリカンフットボール協会  
競技本部競技規則委員会

### 用具装具

#### 1. ユニフォーム(他の身に着ける衣類を含む)

##### .公式規則の内容説明 / 補足 :

- ・ 用具装具全般として「正当な装具を着用していない」あるいは「不正な装具を着用している」プレイヤーがいた場合、チーム・タイムアウトが課される。

##### 公式規則の内容徹底 / 遵守 :

- ・ チーム創立に関わる記念章の取り付けは、大きさ(16 平方インチ=約 10.3 平方 cm以下)・デザインを予め NFA 事務局に提出し、承認を得ること。
- ・ ジャージの番号には、どのような縁取りをつけても良いが、チームの全てのプレイヤーは同一デザインで、番号がはっきりと見分けられなければならない。
- ・ チーム関係者の追悼や、重大な障害・疾病の治癒を祈念する場合には、その個人の番号、名前またはイニシャルを直径 1.5 インチ(約 38 mm)以内の標章として、1つだけユニフォームまたはヘルメットにつけても良い。

以上については、NFA 事務局へ標章装着の趣旨を申請し、競技規則委員会 or 運営本部運営委員会の承認を得る。

2005 年より NFA 公式戦に使用される加盟チームの新デザインユニフォームは競技本部競技規則委員会で審査し承認を受ける。

2004 年度公式戦に於いて着用実績のあるユニフォームは同委員会の承認を受けたものとする。

チームが新デザインユニフォームを採用する為には NFA「ユニフォーム変更手続き」により正規の手続きを要する。

##### 試合運用上の徹底事項 :

以下の 2 点以外のものを装着してはならない。

##### a. ユニフォームにつけたタオル。

- ・ 攻撃側の 1 名のインテリア・ラインメンは 1 枚の水分を吸収する無地の白いタオル(大きさの制限はなし)をつけてよい。
- ・ 他のプレイヤーはベルトの前面または側面の位置に X リーグのロゴ入りタオルを一枚だけ着用できる。

#### b. 寒冷時期のハンド・ウォーマー

以下のものは装着してはならない。

- ・ ボールや相手に対しての付着効果向上させるジャージ、アンダーシャツおよび腕のカバーやパッドの外面部。

#### c. 装着するサポーター、リストバンド、テープ等の使用色の規制

- ・ N F Aに届け出たチームカラー以外の色彩のサポーター類やパッド、グローブや、スパイク等をサポートするテープ類を使用できない。(外観上視認出来る場合のみ)

### 2 . ジャージ

公式規則の内容徹底 / 遵守 :

- ・ 試合中、番号を変えてはならない。  
(罰則 15 ヤード、ひどい者の場合は資格没収)
- ・ 破れたジャージは使用できない。
- ・ テープを巻いてはならない。
- ・ 裂け目を入れるなどの改造をしてはならない。
- ・ ジャージはパンツの下にしまえるだけの十分な長さが必要であり、絶えずパンツの下にしまわれていなくてはならない。

試合運用上の徹底事項 :

- ・ 破損したジャージは使用できない。
- ・ 粘着テープ等で補修されたジャージは使用できない。
- ・ 交換されるジャージは協会登録と同一番号とする。

やむをえない場合は大会本部に番号変更理由を説明し、登録番号変更の承認を得る。

但し、未登録番号のジャージのみの使用が認められる。

大会本部での承認後について

レフリーに番号変更を申告。

大会本部は相手チーム、記録員、アナウンス担当者に連絡する。

レフリーマイクを使用している場合は、選手番号変更をアナウンスする。

### 3 . パンツ

公式規則の内容徹底 / 遵守 :

- ・ 同一チームのプレーヤーは、同一色で同一デザインのパンツを着用する。
- ・ すそに裂け目を入れる等の改造はしてはならない。

試合運用上の徹底事項 :

- ・ 膝はいかなる場合でも完全に覆われていなければならない。
- ・ 膝を覆っていないパンツにサポーターなどを着想しても認められない。

#### 4. マウスピース

公式規則の内容説明 / 補足 :

- ・フィールド上の全てのプレーヤーはマウスピースを正しく装着する。

公式規則の内容徹底 / 遵守 :

- ・マウスピースとは全ての上前歯を覆うものである。

#### 5. グローブ

公式規則の内容説明 / 補足 :

- ・グローブとは、指の部分を完全に覆っているもので、指の部分が分離されており、かつ指と指との間を連結されてはいけない。

試合運用上の徹底事項 :

- ・相手のジャージの色と酷似したグローブや手のパッドを使用してはならない。  
(故意かどうかは問わない)
- ・グローブの手甲側は着用ジャージと同一色か同系色が望ましい
- ・グローブの手甲側に異なる対照的な2色以上使用したものは着用を認める  
(手首より指先方向で指ごとに単色を用いたグローブ)

#### 6. パッド類

公式規則の内容徹底 / 遵守 :

- ・尾てい骨を保護するヒップパッドを装着する。
- ・パンツ内にニーパッドを装着する。
- ・変造・改造されたニーパッドは使用できない。

試合運用上の徹底事項 :

- ・ヒップパッドはジャージの下に完全に覆われ、露出してはならない。
- ・ヒップパッドは、ジャージの内側に装着する。
- ・公式規則に着用を定められたパッド類は見えてはならない。  
(ショルダーパッド・ヒップパッド・ニーパッド)

#### 7. ヘルメット

公式規則の内容徹底 / 遵守 :

- ・ヘルメットのデザインは同一であること。
- ・全ての留め金を留めること。

試合運用上の徹底事項 :

- ・番号をヘルメットにつける場合は、全員同じ場所に同じカラーでつけること。
- ・アワードシールは規制の対象外。

## 7. フェイスマスク

公式規則の内容徹底 / 遵守 :

- ・ フェイスマスクは全員同一色であること。

## 8. アイシールド

公式規則の内容説明 / 補足 :

- ・ アイシールドは透明で固い物質で作成された品質の装着のみ認められる。

公式規則の内容徹底 / 遵守 :

- ・ カラーのアイシールドは禁止。本年度のルール改正により、いかなる理由があってもカラーのアイシールドの装着は認められない。

## 9. ニープレス及びアンクルプレス

試合運用上の徹底事項 :

- ・ パンツ・ソックス・テープ等で完全に覆うこと。
- ・ ヒンジ等硬い部位を露出させない。
- ・ ヒンジ等と身体との間に隙間を生じさせないこと。

## 10. 上腕と前腕

試合運用上の徹底事項 :

- ・ ユニフォームより露出した上腕・前腕を覆うもの(露出したアンダーウェアの色)は、チームでのユニフォームレギュレーションの設定を要請する。
- ・ ユニフォームの3分袖、5部袖、7分袖、長袖の混在を規制するものではない。

## 11. 脚部及びソックス

公式規則の内容説明 / 補足 :

- ・ 全ての選手は色、デザイン及び長さが同一の、見た目にわかるソックスまたは脚部を覆うものを着用しなければならない。  
(例外：負傷部の保護あるいは負傷の予防のための改造されていないニープレス、のテープ及びバンデージ。素足のキッカー)

公式規則の内容徹底 / 遵守 :

- ・ ソックスがプレーの結果ルーズになっても不正な装具としない。
- ・ ソックスを折り返して着用する場合でも全員が同じように折り返して同一デザインで同一長であることが望ましい。

試合運用上の徹底事項 :

- ・ 脚部を覆うものを着用した場合は、外見上、プレーヤー全員の下肢が同デザインで、同一色で統一する。

## 12. バンダナ等

公式規則の内容説明 / 補足 :

- ・ チームグッズとして NFA に登録された統一されたデザインのバンダナ以外をフィールド・オブ・プレー及びエンドゾーンで、プレーヤーは使用してはならない。

公式規則の内容徹底 / 遵守 :

- ・ 規制の対象は、チームグッズ以外のバンダナに限定されるが、試合における整然とした端正なユニフォーム、装具の着用を強く要望する。安全性の理由以外で、選手が頭部に鉢巻き、タオル、手ぬぐい等をフィールド(チームエリアを含む)で着用できない。

試合運用上の徹底事項

- ・ 頭部の防暑・防寒対策が必要な場合は、チームロゴの入った帽子(cap)を着用するように要請する。

## 13. 通信手段

公式規則の内容説明 / 補足 :

- ・ NFA の定めるスポッター席を使用すること。
- ・ 基本的にスポッター席は、両 25yd 間でスタジアムの最上段まで延長した範囲内のスタンド内に設置する。
- ・ 個別グラウンド条件による設置等については、競技委員会および各運営委員会の指導に従うこと。

公式規則の内容徹底 / 遵守

- ・ フィールド上のプレーヤーに無線装置による伝達を禁止する。
- ・ 次の機器の使用は認められる。(チームエリアとスポッター席間)
  - a.ヘッドホン
  - b.無線装置(トランシーバー)
- ・ 次の機器のコーチングを目的とした使用は禁止する。
  - a.再生装置
  - b.ビデオ・ビデオカメラ・カメラ・モニター設備・ポラロイドカメラ(チームエリア外で撮影したポラロイド写真の持込を含む)・映画・FAX・電話(携帯を含む)
  - a.文書(絵図を含む)伝送装置
  - b.コンピュータ
- ・ 下記の機器はチームエリアでの使用は禁止である。

- a.カメラ(TVを含む全てのもの)・拡声器・メガホン・マイク  
(商業・電波放送を目的としたものも含む)

試合運用上の徹底事項：

上記 及び は使用可能を想定したものである。

- ・ 電源の使用は NFA 事務局及び大会本部の指示に従うこと。
- ・ スポッター席の設置設営及び使用において一般観客の観戦を阻害することの無いように留意する。
- ・ 観客の観戦を阻害していると NFA 競技委員が認めた場合は直ちに改善しなければならない。
- ・ 勧告に従わない場合は強制的にスポッター席の使用を停止する。
- ・ 観客席内にコード等を配線する場合は、危険防止のため粘着テープ等で養生を実施すること。
- ・ NFA 競技委員が危険を確認した場合は、直ちに改善・撤去しなくてはならない。
- ・ 次の者は、試合中チームエリアに入ることを禁止する。

(カメラ等の使用・取材の禁止)

- a.チームカメラパーソン
- b.社内等広報担当者
- c.社外広報委託者

NFA 登録者および NFA に入場を認められた全ての方は NFA 運営規定に従う義務を負う。

- ・ 試合中とは、審判員が試合開始のため所定の位置についた時から、レフリーの試合終了の宣告までの間とする。
  - ・ 試合前練習と試合中を通じてリミットライン内での取材や撮影は禁止される。(但し、NFA 競技委員が許可した場合を除く)
- c. 試合運用上の徹底事項：
- ・ フィールドの周囲では NFA 運営規定に従うこと。

#### 14. その他

公式規則の内容説明 / 補足：

- ・ ボール乾燥装置類をサイドラインの近く及びチームエリアで使用することは禁止する。
- ・ プレーヤー、交代選手及び試合関係者(例：コーチ、トレーナー、マネージャー、審判員)は、審判員が任務を開始してからレフリーが試合の終了を宣告するまでである。

喫煙行為の規制

フィールドでタバコ製品(噛みタバコを含む)を使用してはならない。

- ・ NFA 公式戦試合会場敷地内において当日の試合に関わる選手・チームスタッフおよびフットボール関係者の喫煙行為を禁止する。
- ・ フットボール関係者の控室での喫煙行為も禁止する。
- ・ フットボール競技にかかわりのある服装での喫煙行為も禁止する。

#### フィールドゴールキッキングティ어의使用

- ・ NFA 公式戦ではフィールドゴール時のキッキングティ어의使用を禁止(P.A.T.を含む)する。

#### 公式規則の内容徹底 / 遵守 :

- ・ チームエリアなどの遵守
  - a. コーチはコーチングライン(サイドラインから 2 ヤード外側)まで
  - b. 選手(ユニフォームを着用している者)はリミットライン(サイドラインから 4 ヤード外側)まで

#### 試合中の給水について

- ・ X 公式戦では「給水の為のタイムアウト」は実施しない。
- ・ X では別途の定めにより試合の進行を妨げない範囲で給水ができる。
- ・ X2 公式戦では原則実施しない。但し気温を考慮しチーム側と審判員の協議により適時実施できる。
- ・ X3 以下の公式戦では運営委員の判断により必要回数を実施できる。

#### 給水できるタイムアウト

#### チームタイムアウト・クォータータイムアウト・インジュリータイムアウト・サイドラインカンファレンス

- ・ 上記のタイムアウト以外は給水担当者がフィールド内に入ることは困難であり原則として給水を認めない。
- ・ 給水担当者の退場時期
  - チーム・タイムアウト = レフリーの事前退場通告がある。
  - クォータータイムアウト = レフリーの RFP コール以前に退場のこと。
  - インジュリータイムアウト = レフリーの RFP コール以前に退場のこと。
  - サイドラインカンファレンス = カンファレンス終了以前に退場のこと。
- ・ 注意事項》給水担当者の退場時期が遅れた場合は、「交代違反」として処理

#### スパイクポイントの長さ

- ・ 3 / 4 インチ(約 19 mm)以上のクリーツの使用を禁止する。(着用しプレーをしたプレーヤーの罰則は、その試合と次の試合の資格没収)

#### 試合前の練習

第二試合以降に出場する選手スタッフは、前試合の後半開始の第一プレー終了(キック

オフ)後より練習エリアに出られる。

次の試合に出場するチームは、フィールドの周囲で試合の邪魔にならない練習を行っても良いが、小声のタイミング・コール以外の声を出してはならない。また、ホイッスルの使用は禁止。

## NFA 公式戦に於ける試合球

### X リーグ

- ・ NFA が用意する試合球（ウィルソン社製 X リーグロゴ入り公認球）を使用
- ・ 試合球は NFA 競技委員(G.D. : Game Director)が管理する
- ・ 試合球は NFA 競技委員が所定の空気圧に調整・確認後、試合前にボールパーソンに手渡す
- ・ 試合球に不具合が発生した場合や降雨時は NFA 競技委員の判断に基づき適時交換し、使用数も NFA 競技委員が決定する。
- ・ 試合球は NFA 競技委員が管理し、以下の空気圧に調整される。
  - 900g/平方cm ( 12.8 ポント /平方インチ強 ) に加圧。
  - 誤差の許容範囲は ±20.00 g/平方 cm ( ±0.28 ポント /平方インチ。 ) とする。
  - 試合球の空気圧計測はミズノ社製球技用空気圧計により測定する。
- ・ チームボールの使用
  - X は雨天や雨天が予想される天蓋のない試合場において雨天用試合球の申請を認める。
  - 雨天用試合球は試合開始時刻の 1 時間前までに検査を受け、使用承認を得る。
  - 雨天試合球の検査は、審判控室でおこなう。
  - 雨天時の試合球としてゴムボール・合成皮革ボールの使用を認める。
  - ボールの空気圧は 2006 年公式規則書に準拠したものであること。
  - 雨天用試合球は各チーム最大 6 個までとする。

### X2 以下の試合球

- 公式規則に準じた新品か新品同様のボールを用意し試合球とする。
- 公式規則規定の例外として X リーグ試合球の使用が可能。
- チームボールは試合開始時刻の 1 時間前までに検査を受け、使用承認を得る。
- 試合球の検査は、審判控室でおこなう。
- 雨天時の試合球としてゴムボール・合成皮革ボールの使用を認める。
- ボールの空気圧は 2006 年公式規則書に準拠したものであること。
- 本皮試合球 6 球、雨天用試合球 6 球が各チーム用意できる最大数とする。
- ・ ボールパーソン
  - 出場チームスタッフより 1 名を専任。補助員は任意。
  - ボールバッグ、ボールクリーナー、タオル等は出場チームが用意する。
  - フィールドより出た試合球はボールパーソンが直ちに回収しなくてはならない。

ボールパーソンはチームエリアを出た位置では、プレーヤーに対する声掛け、声援及びコーチを行ってはならない。

- ・ チーム記録員はチームエリアを出た位置では、プレーヤーに対する声掛け、声援及びコーチを行ってはならない。

#### NFA 公式戦に於けるカラージャージ使用の規制

- ・ 2004 年より、明らかに異なる色彩のカラージャージに限り、両チームがカラージャージを着用できる。
- ・ 事前に NFA 事務局にジャージの変更届を提出し競技委員会の了承を得た場合において、ホワイトジャージ着用指定されたチームがカラージャージの着用が認められる。
- ・ NFA より指定されたカラーとホワイトジャージの交換は、当該チーム間の合意と NFA 事務局への事前申告が必要である。この場合でもベンチサイドが変更されることはない。

#### ベンチエリアで着用される雨具・防寒具ほか

ベンチエリア内では当該チームとかわりあいの無い名称やロゴ・トレードマークの入った雨具や防寒具等の衣類ほかを着用できない。